チャタレイ夫人の恋人 (1981)

LADY CHATTERLEY'S LOVER

メディア 映画

ジャンル エロティック ロマン스

製作国 イギリス/フランス

時間 103分

初公開日 1982/05

公開情報 東宝東和

【解説】

大胆な愛と性の描写で知られる、イギリスの作家D・H・ロレンスの最後にして代表的な同名作品の初の英語版による映画化。1918年、イギリス中部ノッティンガムシャー。ドイツ戦線で重傷を負ったクリフォード・チャタレイ男爵は、下半身マヒの体になり、男性としての機能も喪失してしまう。ハネムーンもそこそこに夫を送りだした男爵の妻コニーは、まだ半処女とっていい状態のまま、毎日車イスの夫につかえていた。そんなある日、用事を頼まれて森に入ったコニーは、森番のメラーズが小屋の前で全裸で水浴びをしている姿を見て、ハッと息を呑む……。過去にも映画化されているが、前作ではチャタレイ夫人が環境の犠牲者めいた描写が多かったのに対し、この英語版では、イギリスの初春の大地、透明な夕焼け、黒い森などの美しい視覚的な画面の中で、森番メラーズと夫人が愛を通して人間性を追求し、女性としての自我に目覚めていくところに焦点を当てた作りとなっている。この作品は、どうしても大胆な性描写にその注目が集まってしまう傾向があるが、原作者D・H・ロレンスが描いたこの物語は、いわゆる旧世代の性に関する閉鎖性に対し、現代では当然と思われる女性の性の解放について、実に早い時期から言及した野心的作品であり、その意味で非常に高く評価されるべき作品なのである。

【クレジット】

監督	ジュスト・ジャカン	Just Jaeckin
製作	アンドレ・ジャウイ	Andre Djaoui
	クリストファー・ピアース	Christopher Pearce
製作総指揮	ヨーラン・グローバス	Yoram Globus
	メナハム・ゴーラン	Menahem Golan
原作	D・H・ロレンス	D.H. Lawrence
脚本	クリストファー・ウィッキング	Christopher Wicking
	ジュスト・ジャカン	Just Jaeckin
	マルク・ベーム	Marc Behm
撮影	ロベール・フレース	Robert Fraisse
プロダクションデザイン	アントン・ファースト	Anton Furst
音楽	スタンリー・マイヤーズ	Stanley Myers
	リチャード・ハーヴェイ	Richard Harvey
出演	シルヴィア・クリステル	Sylvia Kristel
	シェーン・ブライアント	Shane Briant
	ニコラス・クレイ	Nicholas Clay
	ベッシー・ラヴ	Bessie Love
	アンソニー・ヘッド	Anthony Head
	エリザベス・スプリッグス	Elizabeth Spriggs